

# ザ・フェアモント ホテルバンクーバー The Fairmont Hotel Vancouver

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



「The Fairmont Hotel Vancouver」の正面ファサード。バンクーバーのランドマークとして威風堂々とした佇まいだ



バンクーバーの銀座通り、W・ジョージア・ストリートに面したホテル正面エントランス



ツインのデスクが並ぶレセプションカウンター



筆者 小原康裕

ホテルジャーナリスト。  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年  
Munich Re入社。85年築地原健株代表  
取締役。2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテル  
レストランコンサルタント協会理事。  
※現在、著者のホームページで「世界のリー  
ディングホテル」を連載中。多くの美しい  
写真と興味深いコメントで、世界中の  
ホテルとそれら関連都市を紹介。  
www.jhrca.com/worldhotel



「The Fairmont Hotel Vancouver」は「Castle in the City」と親しみを込めて呼ばれ、まさにヨーロッパの古城を彷彿させる外観が印象的だ。緑青のトンがり屋根が目印で、その特徴ある建物は市内どこからでも確認できる



太陽光が差し込む明るいスイミングプール



「Health Club & Pool」のエントランス



クラシカルなインテリアでコーディネートされたリビングルーム



広いリビングルームからベッドルーム方向の俯瞰



落ち着いた雰囲気のある独立したベッドルーム



古い建物ゆえシャワールームはなく、やや狭い感じを受けるバスルーム



スイート・カテゴリ「One Bedroom Suite」のリビングルームで約70㎡の面積がある。コートヤードビューのクラシカルなスイートで、リビングとベッドルームは十分な広さを確保している



エントランスホールからブランドショップが並ぶメインコリドー



フレンドリーな対応のコンシェルジュデスク

ザ・フェアモント ホテルバンクーバーは街の発展と共存して来たバンクーバーを代表するランドマーク・ホテルである。ホテルの歴史は古く、CPカナディアン・パシフィック・ホテルズ社によって「Hotel Vancouver」の名称で1939年に開業した。現在のホテルバンクーバーは、5階建て煉瓦造りの初代から数えて3代目の建物に当たり、11年もの歳月を要してやっと竣工にこぎつけた。工事を開始して間もなく世界大恐慌の嵐が襲い、5年の長きにわたり建設は中断を余儀なくされたためである。それだけに完成時の喜びは大きく、市民たちも「バンクーバーの誇り」と大歓迎でホテルを称えた。後に英国王ジョージ5世やエリザベス女王を迎えてホテルバンクーバーの最盛期を迎えることになる。幾多の変遷を経てCPホテルズ社は99年にフェアモント・ホテルズ&リゾーツを買収、トロントに本社を置き「Fairmont」ブランドで経営に当たらせている。(本誌Vol 4、The Fairmont Empress参照)

ホテルバンクーバーは市内中心部のW・ジョージア・ストリートに面し、バンクーバーを代表する文化施設のアート・ギャラリーと隣り合わせという好立地にある。巨大な緑青のトンがり屋根が目印で、市内どこからでもその特徴ある建物は確認できる。ヨーロッパの古城を彷彿させる外観が印象的で、特に夜間その屋根を中心にライトアップされると、より幻想的な雰囲気に包まれる。その威風堂々とした佇まいはまさに街のランドマークであり市民の誇りでもある。

ホテルバンクーバーはスイートを含めて全556室のゲストルームを擁する老舗高級ホテルである。筆者にアサインされた部屋はスイート・カテゴリの「One Bedroom Suite」で約70㎡の面積がある。コートヤードビューのクラシカルなスイートで、リビングとベッドルームは十分な広さを確保している。レストランはエントランスホール正面にバー・ラウンジ&レストラン「900 West Lounge」があり、バンクーバーで一番のエンターテインメント・スポットとして評価されている。また、アート・ギャラリーに面した「Griffins」はカジュアルなビストロとして人気がある。ヘルスクラブには太陽光が差し込む明るいスイミングプールがあり、隣のフィットネスセンターは2010年に全面改装され24時間アクセスが可能だ。

ホテルバンクーバーは「Castle in the City」と親しみを込めて呼ばれるように、時代を超えたバンクーバーの顔としての存在感がある。近年、多くの高級ホテルチェーンが様々な形態で進出して来ているが、その凛とした表情には、まだまだ若い者には負けられないという自負心が見て取れるようだ。